

No.132



昭和51年12月15日創刊

宮城県登米農業改良普及センター  
～人と技術で次代を担う経営体の育成～

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼150-5  
TEL (代)0220-22-6111 FAX 0220-22-7522  
E-mail : tmnokai@pref.miyagi.lg.jp  
URL : <http://www.pref.miyagi.jp/site/tmnokai>



中田町りんご園

## 「情勢変化に即応できる登米農業のチカラ」 農業普及指導専門監 佐藤浩也

登米市の農業産出額は333億円（平成30年農林水産省公表）で、東北では弘前市に次ぐ第2位を誇ります。東北6県の市町村数は227ですから、もの凄い業績と言えます。

この付加価値を生み出す源は、肥沃で広大な耕地と豊かな水資源、比較的温暖な気候。そして県内でいち早く整備された汎用化水田、豊富で良質な稲ワラ等々。これらは、稲作をはじめとする土地利用型農業、畜産、園芸の隆盛を支えています。正に“盤石な資源ぞあり”です。

経営革新に挑む皆様(ヒト)は、資源(モノ)を有効に活用し、東北2位までに押し上げる付加価値を生み出し、現在の登米市農業の形をつくってきました。

一方、現在は新型コロナウイルス感染症の影響で、私達の行動や生活様式が大きく変わり、食の分野では外食が減少、インバウンド減少による食需要が変

化。農業にも想定外の影響が生じています。

また、日本農業は担い手の高齢化、減少による労働力不足、国内市場規模の縮小による農畜産物需要の減少等の課題が以前から指摘されており、登米市においても例外ではありません。

しかし、たとえ国内市場規模が縮小傾向にあっても、経営資源が盤石な登米市には、生産力が弱まった国内産地のどこかに代わり、安定した生産力を発揮できる強い競争力と高いポテンシャルがあると、この情勢下にあって改めて感じています。

俗に経営資源と呼ばれるヒト、モノ、カネ（融資、ファンド）、情報（ICT）・時間（省力化、リモート）、知的財産（アイデア）等、恵まれた環境に新しい要素を組み合わせ、登米農業が将来ともに東北農業を牽引する存在であり続けられるよう、普及センターはともに歩みを進めてまいります。



## 登米地域園芸重点品目の生産振興

### 「りんごの樹体ジョイント仕立て技術支援」

樹体ジョイント仕立ては、神奈川県農業技術センターが日本なしで開発し、樹と樹を繋ぎ樹形を整え、早期成園化や作業の省力化が図られる画期的な技術です。

JAみやぎ登米りんご生産部会では、平成29年から樹体ジョイント仕立てを8a導入し、昨年からは収穫が始まり、今年もさらに1人が8a導入して、他にも来年春の導入に向けて苗木を養成しており、樹体ジョイント仕立ての導入面積が増加しています。また4月から、宮城県農業・園芸総合研究所と連携した接ぎ木方法の省力化試験を行うとともに、接ぎ木講習会に部会員7人が参加しました。

普及センターでは、今後も生育調査や樹形管理等の定期的な情報提供を通じ、樹体ジョイント仕立ての普及定着を支援してまいります。



満開期のりんご樹体ジョイント仕立て

## 地域ぐるみで取り組む新規就農者の確保・育成

新規就農者の確保・確保育成に向け、関係機関と連携した相談対応と生産者の熟度に合わせた栽培技術や経営管理の支援を行っています。

### ○新規就農者の確保（就農相談会の参加、関係機関との意見交換）

登米地域では、登米市が定期的に「就農相談会」を開催し、新規就農希望者に対して、各関係機関がアドバイスなどを行っています。なお、相談者がいない場合でも関係機関で意見交換を行う場と位置づけ、新規就農者支援策等について検討しています。

### ○新規就農者の育成（登米農業マイスター制度の活用、技術相談対応）

今年度は、新型コロナウイルスの影響で開始が遅れましたが、3人の新規就農者（きゅうり、りんご、繁殖牛）が登米農業マイスター制度を活用し、各部門の篤農家から栽培技術や経営の考え方等について指導を受けています。



登米農業マイスターによる個別技術指導

## 農用地の利用集積・集約化の推進

### 「持続的な地域農業の姿を考える」

登米市の水田整備率（20a以上に整備）は85%ですが、大区画整備率（50a以上に整備）は34%となっています。一方、県内では、特に沿岸部を中心に意欲ある担い手等に農地の集積・集約を図り、省力化と収益性の高い農業の実現を目指し、1haや2haの大区画化ほ場整備事業が進められています。

市内においてもほ場の大区画化に向けた動きがあり、各地域の担い手育成や生産性の高い野菜等の作付計画などの話し合いが行われています。南方町の沼崎・大平地区では、令和3年度の採択に向け、集積・集約の検討や、高収益作物として加工用ばれいしょ、ゆきななどの作付けなど、地域の将来像の具現化に向けた話し合いが行われています。



加工用ばれいしょの視察調査

## 都市との交流推進による中山間地域の活性化

普及センターでは、中山間地域の活性化に向け、地域が抱える課題や地域資源等の実態を把握し、集落が行う援農ボランティアや都市農村交流の実施体制づくりを支援してきました。

沢田地区は、特産品であるとうもろこし「味来（みらい）」のファンづくりのための都市農村交流活動で定植・収穫作業の援農ボランティアや都市農村交流を実施していましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で中止となってしまいました。

当地区では、「とうもろこし」に加え新たな品目として、「わらび」の導入を計画しています。そこで今後は、東和町道の駅出荷組合で開始しているわらび栽培の取組を参考に栽培のポイントをまとめ、次年度試験栽培に向け支援していきます。



わらびの定植作業

## 令和2年度 新しく認定された農業士を紹介します!

### 青年農業士

さくらい としみつ

#### 櫻井 利光さん(米山)

○経営部門：露地野菜

米山町の櫻井利光さんは、土地利用型野菜を中心とした「株式会社櫻井農場」の代表を務めています。

品目は、年2作のキャベツを中心に、冬期にはちぢみほうれんそう、ちぢみゆきな等を栽培し、露地野菜による周年就労体制の確立と経営の安定化を図っています。特に、キャベツは延べ14haを作付けし、県内一の作付面積となっています。

櫻井さんは、土地改良区の総代や農業委員として地元農家からの相談に対応し、若い世代のリーダーとして活躍が期待されます。



### 青年農業士

ささき たかあき

#### 佐々木崇興さん(中田)

○経営部門：施設野菜

中田町の佐々木崇興さんは、家族4人で施設きゅうりを中心に、水稲+施設野菜の農業経営を行っています。

佐々木さんは、登米地域のきゅうり農家では導入事例がまだ少ない環境モニターと炭酸ガス発生装置を用いた環境制御技術をいち早く導入し、収穫量及び品質向上に向けて積極的に取り組んでいます。また、新しい取組を部会員に紹介するなど技術の普及啓発活動も行い、JAみやぎ登米胡瓜部会の産地拡大に向け活躍されています。



## 令和2年度 第1回普及活動検討会

令和2年9月1日(火)、普及活動への外部評価をいただく普及活動検討会を開催しました。

最初に米山町の新規就農者、富栄隆さんの繁殖牛経営を視察しました。現在、繁殖牛24頭を飼養し、年次計画を上回る営農成績をあげています。次に、国の補助事業を活用して複合環境制御低コスト耐候性ハウス50aを導入し、きゅうり部門の規模拡大を図った中田町の株式会社石ノ森農場を視察し、経営上の課題や将来展望等についてお話を伺いました。

視察後、7人の検討委員から「富栄さんの経営に向き合う姿は新規就農者の模範であり、こうした取組を広めてほしい」、[(株)石ノ森農場の取組は、環境制御技術を活用したきゅうり産地のモデルとして普及させてほしい]といった意見などをいただきました。



とみえ 富栄さんの畜舎を視察調査

高病原性鳥インフルエンザの発生を防ぐため、鶏舎への野生動物の侵入防止と消毒を徹底しましょう。



## 登米市の元気ファーマー なかだて ひろし 中館 博さん(米山町・施設野菜, 露地野菜)



米山町の野菜農家中館博さんは、建築関係の会社で設計や施工管理等の仕事に携わっていましたが、縁があり地元の農業法人で農業に携わるようになりました。その後、東日本大震災の復旧・復興で人手不足が深刻となっていた建築関係の会社から声掛けがあり、農業から一時離れることとなりました。しかしその後、自分にとってやりがいのある仕事は何かと考え、自ら独立して農業を始めることを決意し、令和元年秋に独立就農しました。

現在は、先輩農家からアドバイスをもらいながら、ハウスではきゅうり、露地ではきゅうりとほうれんそうを栽培、また、登米の伝統野菜である観音寺せりの栽培にも挑戦しています。他産業での経験も豊富な中館さんは「農業と他産業を組み合わせた新しい農業経営の形を考え、実現させていきたい」と、将来の構想を語ってくれました。

### 受賞おめでとうございます

#### ◆◆◆◆令和2年度 宮城県農林産物品評会・花き品評会◆◆◆◆

令和2年10月21日(水)に、宮城県庁で品評会が開催され、農産物222点、花き101点の出品があり、登米市内からはりんごときゅうりの農林水産大臣賞など9点が入賞されました。

| 部門  | 品目名    | 品種名         | 順位       | 地域 | 氏名(敬称略)            | 備考                              |
|-----|--------|-------------|----------|----|--------------------|---------------------------------|
| 果実  | りんご    | シナノスイート     | 1席       | 中田 | 猪股 剛               | 宮城県知事賞(1等)<br>農林水産大臣賞           |
| 果菜類 | きゅうり   | アドミラル       | 1席       | 米山 | 株式会社 久保園芸          | 宮城県知事賞(1等)<br>農林水産大臣賞           |
| 水稲  | うるち玄米  | つや姫         | 3席       | 東和 | 石坂 信義              | 宮城県知事賞(2等)<br>宮城県農業協同組合中央会長賞    |
| 水稲  | うるち玄米  | ひとめぼれ       | 4席       | 豊里 | 農事組合法人<br>ときなみファーム | 宮城県知事賞(2等)<br>(公社)みやぎ農業振興公社理事長賞 |
| 水稲  | うるち玄米  | ササニシキ       | 7席       | 豊里 | 佐々木 礼藏             | 宮城県知事賞(3等)                      |
| 水稲  | うるち玄米  | ササニシキ       | 8席       | 豊里 | 佐々木 隆一             | 宮城県知事賞(3等)                      |
| 花き  | シクラメン  | メリータシャインレッド | 金賞<br>2席 | 迫  | 伊藤 貴和子             | 農林水産省生産局長賞                      |
| 花き  | スプレーぎく | セイコンチェルト    | 銀賞       | 中田 | 佐藤 武志              |                                 |
| 花き  | ばら     | ブロッサムピンク    | 銀賞       | 米山 | 株式会社 耕伸            |                                 |



出品者 猪股 剛氏



出品者 株式会社 久保園芸